

2026年8月12日

各位

会社名 株式会社トライアイズ
 代表者 代表取締役社長 岩尾 俊兵
 (コード 4840 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役 COO 兼 CTO 小林 尚生
 電 話 03 (3 2 2 1) 0 2 1 1

2026年12月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026年5月14日「第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました2026年12月期第2四半期累計期間(2026年1月1日～2026年6月30日)の連結業績予想と実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 連結業績予想との差異

2026年12月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異(2026年1月1日～2026年6月30日)

単位：百万円

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	1,292	94	129	210	26円74銭
実績(B)	466	△66	△46	137	16円69銭
増減額(B-A)	△826	△161	△176	△72	—
増減率(%)	△63.9	—	—	△34.4	—
(参考) 前期第2四半期実績 (2025年12月期)	444	△9	157	213	27.4

2. 差異の理由

(売上高から営業利益)

建設コンサルタント事業において、当初第2四半期売上計上予定案件が工期延長により翌期以降の売上となったことに加え、不動産投資事業においても当初第2四半期売上計上予定の売却案件が第3四半期以降にずれ込んだことにより、売上高は予想値の36.1%である466百万円となりました。また、建設コンサルタント事業の原価率が予想値よりも大幅に増加する結果となりました(予想61.4%に対して実績77.3%)。売上高の減少と原価率の上昇により、売上総利益は予想値を下回る結果となりました。販売費及び一般管理費については概ね予想値どおりに推移したため、売上総利益減少の影響を受け、営業利益は予想値94百万円に対して、66百万円の営業損失となりました。

(経常利益から親会社株主に帰属する中間純利益)

営業外収益については概ね予想値どおり推移しましたが、営業外費用が予想値を10百万円上回り、営業利益の減少の影響と併せ、経常利益は予想値129百万円に対して46百万円の経常損失となりました。2026年6月19日公表の「特別利益の発生及び通期業績総修正のお知らせ」にて公表したとおり池田元代表取締役との第2審勝訴の結果を受け、賠償金及び新株予約権戻入益を特別利益として計上した結果、特別利益は予想値を上回り、親会社株主に帰属する中間純利益について、予想値210百万円に対して137百万円となりました。

以上